カレッジ通信

2013 11 月号

発 行：みさとカレッジ運営事務局　〒699-4692 島根県邑智郡美郷町粕渕 168 番地 (美郷町役場 企画課内)　tel：0855(75)1924

第 2 期みさとカレッジ普及科スタート

第 2 期みさとカレッジ普及科の講座が、10 月よりスタートしました。今期は、「地域文化」「ミツバチ」「薬草」「健康」「食」「環境」「観光」の 7 つのテーマから、興味があるテーマを受講していただき、ステップアップかつ、複合的に学べる内容となっています。

冬のミツバチ飼育に大切なことは？

第 2 期みさとカレッジの 1 回目となる講座を、10 月 29 日 (火) ミツバチをテーマに開講しました。 講師は、1 期に続き、日本在来種みつばちの会会長・藤原誠太氏と、NPO 法人銀座みつばちプロジェクト理事・田中淳夫氏です。

▲ミツバチの越冬対策を熱心に聞き入る受講生のみなさん。

1 期の受講生を中心に 38 人が、「ミツバチの冬越しについて ～スムシ、子出し病対策～」と題した座学を受講しました。

ミツバチが快適に越冬するには、巣箱の隙間風を防ぐ。段ボール等で巣箱を覆い、保温に努める等、具体的な対策についてお話いただきました。

また、この日は、「日本ミツバチ用巣枠式巣箱づくり」も行いました。巣枠式の巣箱は、ミツバチの巣を全壊させることなく、蜂蜜だけを採取することができる上、幼虫達も残すことができるので、ミツバチにとって、ダメージが少ないのが最大のメリットです。

藤原会長は、「美郷町には、日本ミツバチは無尽蔵にいる。それも比較的良い性質のミツバチです。今まで見えていなかったものが商材になる可能性がある」と話し、美郷町の恵まれた自然環境と共に、養蜂の起業ついて、期待を寄せていました。

身近な植物の薬効に興味津々！

11 月 5 日 (火) は薬草講座を開講しました。講師は 1 期に続き、崇城大学薬学部教授・村上光太郎氏。「山菜利用で健康生活 ～山菜の宝庫～」と題した講座には 35 人が受講し、ユーモアを交えた村上先生の話に熱心に耳を傾けていました。

▲スライドに薬草を映し出し、説明する村上先生。

道端や畦道でよく見かけるヘビイチゴには解毒作用があることや、繁殖性の強さに厄介者扱いされているクズには、肝機能を活発にする作用があるなど、身近な植物の薬効にみなさん興味津々。

「ヘビイチゴは食べてはいけないと思っていた」「クズはいたるところに生えている」など、講座が終わった後も話が弾んでいました。

美郷町は、薬草も豊富な、恵まれた町なのです！

▲659 年に編さんされた中国の公撰薬物書「新修本草」にも記載されているヘビイチゴ。

▲花は二日酔い、根は風邪の初期症状に効果があるとされるクズ。